

News Release

2009 年 6 月 17 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

グンゼ（株）に対し、DBJ環境格付に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「DBJ」という）は、平成 21 年 6 月 19 日、グンゼ株式会社（代表取締役：平田弘、以下「当社」という）に対し、環境格付融資を実施します。

「DBJ 環境格付」は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて 3 段階の適用金利を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

当社は、肌着・靴下に代表されるアパレル事業を中核に、機能ソリューション事業、ライフクリエイト事業のセグメントで事業を展開しています。また、昭和 45 年に「公害予防委員会」を設置するなど環境保全に早くから取り組むとともに、地域住民をステークホルダーとして強く意識した CSR 経営を実践しています。

今回の評価では、(1)脱硝設備(注 1)の配備による NOx の意欲的な削減に代表される環境負荷低減活動、(2)カーボンフットプリント（注 2）など環境情報の積極的な開示、(3)地域住民との重層的なコミュニケーションや NPO 支援などの継続的取り組み、を高く評価しました。結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客さまの取り組みを積極的に支援して参ります。

（注 1） 脱硝設備…窒素酸化物（NOx）の排出を除去するための環境設備

（注 2） カーボンフットプリント…製品のライフサイクル全般（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）に排出される温室効果ガスを CO2 量に換算し、製品に表示する仕組み

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 06-4706-6455